交流会レポート

知的財産管理技能士会　交流委員会

2014 年 6 月 13 日（金）、独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部において、知的財産管理技能士会第 13 回交流会が開催されました。今回の交流会レポートでは、JAMSTEC の全面協力を頂いて実現した、特別編成の施設見学・講演会・懇親会の模様をご紹介します。

1. 実物の迫力に圧倒される

かつて伊藤博文が大日本帝国憲法の草案作成のために逗留した、夏島に在する JAMSTEC 横須賀本部に到着した知財技能士 35 名が目にした光景は、広大な桟橋に横付けされた海洋調査船「なつしま」のバックに広がる青い空と海でした。

本館の大会議室に集合した後、広報部の皆様にガイド頂き、施設見学の開始です。はじめに見学した無人探査機「かいこう 7000 Ⅱ」や最新の「かいこう 7000Mk- Ⅳ」格納庫では、整備中の探査機 4 機を間近に、内部まで見ることができました。このビークルが、深海 7,000 メートルでライトを光らせ、未知の生物・物質をバスケットに採取することを想像し、参加者の誰もがワクワクしました。

続いて見学した水圧実験棟では、深海再現実験で水深 13,000 メートル相当で圧潰された鉄球を目の当たりにし、このような高圧にも耐えられる耐圧殻を作り出せる日本の技術力を実感しました。

2. 多彩な展示物に興奮

展示施設「海洋科学技術館」には、「しんかい 6500」の実物大模型が展示され、コックピット内での記念撮影の列ができていました。また、深

海生物の標本やJAMSTEC保有の調査船の精巧な模型など、丁寧な解説付きのゆったりとした見学を、興味津々で楽しむことができました。

当初予定されていた有人潜水調査船「しんかい6500」と海洋調査船「なつしま」の内部見学が、調査日程等の都合でできなくなりましたが、それを補って余りある施設見学でした。

3. 知財技能士による講演

再び本館に戻り、二級知的財産管理技能士でもある事業推進部産学連携課の山科則之様による「JAMSTECの知財活用の取り組みについて」と題するご講演をいただきました。以下はその概要です。

○ JAMSTECは、海洋に関する研究開発・学術研究組織であり、海底調査ロボットなどの技術開発や、人の生活や健康に役立つ有用物質の産業利用に向けた海洋バイオ研究･開発も行っている。保有特許数で見ると、8割が海洋開発・ライフサイエンスに関する特許だが、特許権ではなく、ソフトウェアや映像、グッズなど著作権が、知的財産権収入の9割を占めている。

○研究開発成果の実用化で社会還元する取り組みとしてJAMSTEC「実用化展開促進プログラム」がある。2011年、東京の下町企業・大学・JAMSTEC・金融機関コーディネートによる共同開発が開始され、フリーホール型深海小型探査機「江戸っ子1号」が、深度約7,800メートルでの深海魚3D撮影に成功したことは、大きなニュースにもなった。現在は、参加企業を中心に、同プロジェクトの事業化が進められている。

○ JAMSTECでしか撮影できない貴重な深海生物や海底地形映像や、スパコン「地球シミュレータ」によるシミュレーション結果や可視化画像なども、多く保有している。映像コンテンツの新しい利用として、「小型無人探査機ピカソ」開発ドキュメンタリーの制作を行い、第54回科学技術映像祭で文部大臣賞を受賞した。主役となった小型無人探査機「ピカソ」は、希望者の費用負担があれば、出張撮影にも対応可能である。

講演後の質疑応答では、地震予知やレア・アース開発技術、深海探査機紛失事故、深海バイオ研究の実用化など、知財技能士4名による様々な角度からの質疑にお答え頂きました。

4. 懇親会

講演の後、JAMSTEC敷地内にある社員食堂「親海亭」に移動して、いよいよ懇親会の開始です。懇親会には山科様に笠谷課長、根本様を加えた

JAMSTEC 事業推進部産学連携課の皆様にもご参加頂きました。

ここで、開会早々から参会者が気になっていたのは、本交流会のために特別に用意して頂いた、深海由来酵母で試験醸造した日本酒「興味深々」。ボトルのテーブルには、こんどは試飲の列が。。。深海を彷彿とさせる奥深い味わい（個人の感想）でした。残念ながら、販売の予定はたっていないとのことです。

「JAMSTEC だからこそ参加」といった皆様の熱い会話は盛り上がり、1 時間の懇親会はあっという間、大人の遠足気分も手伝い、最後まで笑顔の第 13 回交流会でした。

5. 産業に貢献する知財ミクス

JAMSTEC は、「深海研究・技術開発組織」というイメージでしたが、実は著作権・商標権などのソフトな知財を多く保有し、それらを積極・多角的に活用していることが、大変よく理解できました。

今後はさらに、「興味深々」以外にも、深海酵母の産業応用としてパンや味噌の製造など、JAMSTEC の深海バイオ研究成果を、企業や自治体と共同して開発、製品化していく意向とのことです。今後はますます、「実はこれも JAMSTEC の研究開発成果！？」というものが増えていくかもしれません。

「江戸っ子 1 号」プロジェクトでは、JAMSTEC と複数の企業及び大学をまとめるコーディネーター（金融機関）が重要だったそうです。それぞれの持つ知的財産（ミクロ）を事業化（マクロ化）するには、俯瞰する能力が絶対的に必要です。知財技能士は、知財だけでなく、経営や政治、環境問題等についても常にアンテナを張り続けることで、社会及び企業に必要とされる人材でなくては、と考えた交流会でした。

（交流委員　荒巻 陽子）

速報！第 14 回交流会

2014 年 7 月 31 日（木）、サントリー山崎蒸留所（大阪府三島郡）において、知的財産管理技能士会第 14 回交流会が開催され、知財技能士 44 名が参加致しました。サントリーホールディングス株式会社知的財産部の協力を頂いて実現した、施設見学・講演会の模様は次号 IPMR15 号で詳報の予定です。

知的財産管理技能士会・交流会のご案内
http://www.ip-ginoushikai.org/koryukai
＊これまでの実績や今後の予定は上記ウェブをご覧ください